

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
自転車は回した分だけ強くなるかみしめふみしめ登るさか道	なつやすみプールに入るたのしみだるかのようにおよぎたいなあ	なつやすみプールに入るたのしみだ水がキレイでじが見えるよ	神社さいおみこしもってねりあるく志比内みんなしあわせになれ	夏休み終わっちゃったな今日学校いやだいやだなでもがんばるか	遠足でポー川に来てポスターのペーターベンがとってまこわい	森の中だにくわれていたすぎるびょういんいったもうだにきらい！	海にさく花火パラパラしから浜家族を見たよ夏のおもいで	くらやみにけむりほわほわながれてくきかんしやみたいうちあげ花火	うみのそこゆうきを出してもぐったらかにかがいはいるでパレード	かたぐるまひまわりめいろあるいたよ風がひゅーひゅーおどる花たち	森の中しずかだけれど聞こえるよ木がこすれるよ小鳥がなくて	夏祭りしたいこのおとが天をつきはるかにひびくドンドンドンカツ	たのしいねティネプールでおよいだよながれるプールながされるほく	おもいでははこだてりよこつみらいかんあそびばいつてたのしかったよ	なつやすみユニバーサルでマリオとねしやしんをとってうれしかった
余市町立黒川小学校	富良野市立鳥沼小学校	富良野市立鳥沼小学校	東神楽町立志比内小学校	苫小牧市立清水小学校	標津町立標津小学校	標津町立標津小学校	札幌市立山鼻小学校	札幌市立元町小学校	札幌市立前田小学校	札幌市立本町小学校	札幌市立平岸高台小学校	札幌市立中央小学校	札幌市立北九条小学校	札幌市立北九条小学校	札幌市立北九条小学校
3年	2年	2年	2年	3年	3年	3年	3年	2年	2年	2年	3年	3年	1年	1年	1年
長谷川 稜	長谷川虎之助	北基慎	中村 曜	宝金 侑	稗貫心優華	大石 辰季	橋本 作	加藤 梁平	石岡 樹依	嵐 咲良	山田香乃子	日野 翔大	橋本 壘	根本 芽衣	石垣 陽葵

小学4～6年生の部

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
私がねかみを切ったら木もちよつどかみを切ったシヨートカットだ	梅雨時の雨がやんだらにじがでるさわやかな空ほくも笑顔に	夏がきた私が表現する阿波踊りみんなの笑顔ひきだしたいな	楽しみは朝起きいでてこたまする鳥の鳴く声耳すます時	たのしみは青空の下公園で水風船のじぶき散る時	いよいよだ！バレエ本番落ちついておどりの心再現してく	晴れた日の大空に打つホームラン高く飛んで光かがやく	森の中夏だよキャンプたのしいなクワガタカブトいっぱいとりよ	かささぎが橋をわたした天の川今ごろ夜空で逢えているかな	とつ然の大雨ふって雨宿り公園行けずうつむき歩く	家の中まどから風が入りこむふうりんゆれて心もゆれる	夏まつりたいに合わせてゆれるすそ下ドンドンドンゆかたゆらゆら	もう真夏あつくてとけそつでも走るかき氷屋はもう目の前だ	たのしみは涼しい朝に好きな曲ピアノの音色響かせる時	夏の夜夜空見上げて目にうつる空いちめんさきまっはなび	山の中「なんだあいつは「みたことない」熊の気持ちちが聞こえてきてっ	四時間目給食ワゴン運ばれてありがとってみんながお礼	まど横の白いあのくもねこみたい次は何かく青いキャンパス	困ってる人を見つけて助け行くその人にある優しい心	夏の夜むしむししてて暑いけどおふるでいいあせジュースでかんばい	さざ波が一しよにあそぼとよんでいるこわいわ入れた足がよろこぶ	かえでの葉赤黄にそまる大通り秋のにおいがたちこめている	とほとほと帰る私に呼びかける夕日に伸びたプラタナスの木	いわし雲田んぼ広がるあせ道でかかしにとんぼ田舎のにおい	飛行機はまだから見えたしつげんの川がうにやうにやだいじやの様	雨だけど世界平和の文字歩く楽しかったなひまわりめいろ	スイカわりみんなで食べて楽しいな海に向かってたねふき飛ばす	
帯広市立帯広小学校	帯広市立大正小学校	札幌市立あいの里東小学校	札幌市立三角山小学校	札幌市立三角山小学校	札幌市立西園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立桑園小学校	札幌市立手稲鉄北小学校	札幌市立手稲鉄北小学校	札幌市立八軒北小学校	札幌市立八軒北小学校	札幌市立八軒北小学校	札幌市立八軒北小学校	札幌市立寒西小学校	札幌市立平岡中央小学校	札幌市立平岡中央小学校	札幌市立平岡中央小学校	札幌市立平岡南小学校	札幌市立平岡南小学校	札幌市立伏古北小学校	札幌市立伏古北小学校	
6年	6年	6年	6年	6年	4年	5年	5年	5年	5年	5年	5年	5年	6年	6年	6年	4年	6年	6年	5年	5年	5年	5年	5年	5年	5年	5年	5年
渡辺 琴巴	木下 閃	星野 鼓	岩下なな子	川田 朔久	廣部 琴	要 怜太郎	関谷 優太	高橋 都和	千葉 彩寧	福本 三晴	増田 晴香	若木 悠都	佐々木歩良	本間 月彩	工藤 祐暉	上田 優奈	林 彩香	渡部 羽音	菅野 嶺亜	生出 乃愛	竹澤 光里	伊藤ひかり	川原 優菜	奥貫 尚	植平 結衣	高橋 和花	

44	一人旅やつと着いたよ祖母の家ゲームしないぞ三泊四日	札幌市立伏古北小学校	5年	辻 奏多
45	すがすがし森の香りが身をつつむ鳥も私も空を見上げる	札幌市立伏見小学校	6年	三上 紗良
46	遊んでた残ってほしいあのきおく一生残る大事なたから	札幌市立北都小学校	6年	古山 夏希
47	大はなび私のゆめもあのよつにうんと大きくうち上げるんだ	札幌市立北光小学校	4年	横田夕紀音
48	卯の刻にとうきび頭に赤蜻蛉羽は輝き尾っぽは天に	札幌市立北光小学校	5年	森 嵩暁
49	キヤッチする硬式ボールのしょうげきがすこく強いな少し痛いよ	札幌市立宮の森小学校	5年	宮谷 光
50	兄様とはなればなれになるけれど記憶の中に残っているよ	標津町立標津小学校	5年	三田 一心
51	なつの虫朝はうるさいだけに夜の時だけすすずしい音だ	伊達市立長和小学校	6年	仁井 鳳舜
52	フラダンスはつびょうかいのほんばんでしょうずにできてうれしかったよ	千歳市立みどり台小学校	4年	海野 実玲
53	学校のいまやっている勉強のたん歌がたのしいまたやりたいな	千歳市立みどり台小学校	4年	鳩澤 里奈
54	なつやすみ自由けんきゆうなにつくろう。読書もゲームもたくさんしよう	千歳市立みどり台小学校	4年	前田 航志
55	たのしみは火曜と木曜父さんとならいいこのれんしゆうする時	登別市立青葉小学校	6年	原口 希夢
56	野球してボールを投げるマウンドへ僕の野球はメジャーリーグ	増毛町立増毛小学校	5年	石田 奏翔
57	夏休みとっても楽しい水遊びみんなでわいわい夏の思い出	増毛町立増毛小学校	5年	丹保 幸

中学生の部

58	晴天が私の心を動かすのそろそろ押すかやる気スイッチ	旭川市立東光中学校	3年	清野 菜花
59	星眺め無数の星が落ちた夜願いを込めた私の両手	旭川市立東光中学校	3年	谷村 夏希
60	夏祭り好きな子誘って既読無視あぁきつとこれは失恋だろう	旭川市立東光中学校	3年	宮本 健矢
61	部活動夏の大会笛が鳴り僕らの夏が終わりを迎える	旭川市立東光中学校	3年	吉岡蒼一郎
62	青い空あなたに届け僕の詩届かないけどつたえたかった	芦別市立芦別中学校	2年	佐久山すず
63	夏祭り戦いっこの子等の声くじで当たった金色の剣	安平町立早来学園	8年	野村 涼太
64	帰り道流れる雲やゆれる葉の変わらぬ景色続きますよう	石狩市立樽川中学校	2年	田中 咲彩
65	他の人のお前には無理「気にするな自分の思いに正直であれ	石狩市立樽川中学校	2年	原田 龍生
66	三振だ僕の決め球ストレート空振り取って雄叫び上げる	恵庭市立恵み野中学校	2年	山内 馨太
67	伝えたい日々の感謝をしっかりとカーネーションに手紙をそえて	江別市立大麻東中学校	2年	星 愛果
68	学校を欠席すればするほどに自分の存在忘れられてく	帯広市立帯広第二中学校	2年	牛島 彩葉
69	静まった教室の中こそりとあなたの机にチョコを入れるの	帯広市立帯広第二中学校	2年	斉藤 珠麗
70	紡がれる短歌を思う和の心廃れることなき三十一音	帯広市立八千代中学校	2年	宮下 海璃
71	好きな人振られる予感片思い目が合ったたびに胸が高ぶる	帯広市立八千代中学校	2年	安田 真音
72	阿寒湖の水面輝く水の中今でも眠るカムイの歴史	釧路市立共栄中学校	2年	吉成 美遥
73	青い空強い日差しで焼ける肌靴下の跡くつきり残る	札幌光星中学校	2年	池畑誠志朗
74	終了のサイレン響く甲子園土を集める震えた背中	札幌光星中学校	2年	川上 真穂
75	夏の空皆が見つめる白い球メガホンもって全校エール	札幌光星中学校	2年	長谷川琴子
76	最果ての終着駅に降り立ちてこれより渡る津軽海峡	札幌光星中学校	3年	森下真之祐
77	夏の雨寒さ吹き飛ばエスコンの画面に映る歓迎の文字	札幌市立厚別南中学校	1年	河上 彩音
78	エスコンの間近に見えるマウンドで見てみたかった大谷翔平	札幌市立厚別南中学校	1年	山田 莉瑚
79	宇宙とのつながり感じるムツクリの奥深い音銀河を渡る	札幌市立厚別南中学校	2年	下村 葉月
80	ああ夏よ手加減してくれ紫外線太陽さんよもう許してよ	札幌市立石山中学校	1年	鈴木 斗偉
81	喜寿祝い祖父母にむけてプレゼント長生き願ひ似顔絵送る	札幌市立石山中学校	2年	泉 萌々香
82	丹頂が遠くに見えて驚いた夏の釧路の夕暮れ時に	札幌市立石山中学校	2年	佐々木陸登
83	僕の心(マイハート)きみへの想いひそめてた染み出る気持ち湧き水のよう	札幌市立柏中学校	2年	佐々木隼士
84	マスク取れ顔がしっかりと出ていてもあなたの心は隠れて見えす	札幌市立義務教育学校福移学園	9年	戸ノ崎 合
85	放つ球バッターが打つその瞬間どよめく球場つむじむいた君	札幌市立光陽中学校	2年	大越 詩音
86	花展にて学生席のデルフィウム散るその青に恋するは友	札幌市立向陵中学校	2年	松下 千華
87	金色(こんじき)のしだれ花火が目(の)こり眼(まなこ)閉じれば日々思い出す	札幌市立中央中学校	2年	角田夕璃花
88	おやこザル身をよせあつてエサをはむ見守る祖母の目元が緩む	札幌市立東栄中学校	2年	成田 真弥
89	中体連前回負けたライバルにリベンジ果たし全道出場	札幌市立羊丘中学校	3年	佐藤 真飛
90	犬なのにヒップ扱いありえない夜も冷房おやつも二回	札幌市立平岡緑中学校	2年	佐藤 由宇

137	前ならえ隣でしてた君がいた今となつては遠い横顔	北海道小樽水産高等学校	2年	大西 蒼音
136	まだ白紙書いては消して考える小樽に夏に恋にギターに	北海道小樽水産高等学校	1年	吉田 麻椰
135	何度でも進みつづける俺と友お前がいると毎日が晴れ	北海道小樽水産高等学校	1年	山崎 旬陽
134	怖い海怒号を飛ばし怒ってるもうひとくんばり父の手伝い	北海道小樽水産高等学校	1年	藤巻 海成
133	目も見れず頬赤らめて渡すものカーネーションと一つの言葉	北海道小樽水産高等学校	1年	渋谷 華菜
132	夏なのに涼しい風吹く祝津沖潮にもまれるヨット大会	北海道小樽水産高等学校	1年	佐野 佑斗
131	人混みに流されながら坂道をふと見る夜空に広がる希望	北海道小樽水産高等学校	1年	黒木 羅王
130	夏休み体育館に響いてるみんなの声とシャトルの音が	北海道小樽水産高等学校	1年	川 佑樹
129	海岸線海に浮んだローソク岩夕日が灯る余市が輝く	北海道小樽水産高等学校	1年	江上 政弘
128	短命な小さな星に火を灯し夏の終わりは儚く消える	北海道小樽水産高等学校	1年	荒川 千帆
127	大会前みんなに内緒でお守りをつくる毎日祈りを込めて	北海道恵庭北高等学校	3年	竹森 美那
126	授業中とぶのは意識と時計の針気づいた頃には鳴っている鐘	北海道恵庭北高等学校	3年	高橋 優牙
125	加速する胸の高鳴り君のせい鳴り響くのは火花が鼓動か	北海道石狩南高等学校	2年	松倉 匡耶
124	降り立つと暑さが見える琉球で友と深める熱き友情	星槎国際高等学校	3年	蠣崎 匠
123	楽しみな美味しいお寿司それなのにこそられるのはカレーの匂い	市立札幌山の手支援学校高等部	1年	佐藤 寛太
122	夕焼けの高速道路の車窓から見える景色に心癒やされ	市立札幌山の手支援学校高等部	1年	小竹 陽斗
121	静か夜盤に向きあい指す度に脳裏に浮かぶ光の道よ	札幌光星高等学校	3年	辻村 礼音
120	引返し普段言えないありがとう感謝の気持ち親へ伝える	帯広北高等学校	3年	長屋 秋太
119	暑い夏新潟遠征強豪に強い気持ちで勝利にこだわる	帯広北高等学校	3年	小田部聖洸
118	灼熱で歪む道路の先へ行くまだ見ぬ景色探し求めて	帯広北高等学校	2年	沢本 拓海
117	今もお先が見えずにもがいてる未来の自分どうしているか	帯広北高等学校	2年	秋保 祐太
116	なぜだろう部屋の中は心地よいサッカー道具であふれてるのに	帯広北高等学校	1年	水口 桃歌
115	向日葵は太陽という希望見て何にも負けず前を向いている	帯広北高等学校	1年	富田 愛白
114	雷が鳴り響く中お祭りに雨でびしょぬれそれも思い出	帯広北高等学校	1年	角玄 陽莉
113	満開の花火見上げる君の横打ち上げ音も鼓動を消して	池上学院高等学校	2年	三井 優太
112	卓囲み家族の会話と焼肉と温か我が家しあわせの味	旭川実業高等学校	3年	上野 未悠
111	打ちあげた落ちると念じ走ったが捕手のグラブへ収まるボール	和寒町立和寒中学校	2年	佐藤 行斗
110	「チャンスだ」と逆転シュート放つ時「入れ」と両手合わせる仲間	室蘭市立桜蘭中学校	2年	山本 水愛
109	愛犬と一緒に散歩チラチラと振り向く姿かわいすぎるよ	室蘭市立桜蘭中学校	2年	宮坂 葵心
108	太陽の光の下でハイタッチ点数決めてラケット交わす	室蘭市立桜蘭中学校	2年	中田 莉央
107	スタート前緊張鎮め前向きにベスト目指してスタブロを蹴る	室蘭市立桜蘭中学校	2年	塩原 政衛
106	大縄の練習はげむ昼休み数を数える声ひびいている	室蘭市立桜蘭中学校	2年	大木 こな
105	緊張のスタート小屋で目を閉じてすべるコースをイメージしてる	室蘭市立桜蘭中学校	2年	浦山 夏帆
104	ドキドキと一緒に食べるハンバーグちら見ちゃう彼の横顔	室蘭市立桜蘭中学校	2年	岩間 珠里
103	なんでだろうイライライラで無視続け下向く母に心(こ)で謝る	北海道教育大学附属釧路義務教育学校	7年	山根 悠聖
102	窓ぎわの君の瞳に映る僕貴方に僕は見えていますか	登別市立登別中学校	1年	峯 陽咲
101	コート立ち開始の音が鳴りひびくファーストサーブ力を込めて	苫小牧市立和光中学校	2年	堀 芽可
100	持ち物はカバンとコーラと腕時計目的地のない夏が始まる	苫小牧市立和光中学校	2年	高坂 泉実
99	彼の隣火花を見たい夏祭り叶うことない僕い願ひ	苫小牧市立苫小牧東中学校	2年	高橋 佑月
98	夏の雨緑のおいたちこめる夏を感じて走り始める	苫小牧市立青翔中学校	2年	西山 碧飛
97	光彩の線香花火照らすのは笑顔いっぱい私の祖父母	苫小牧市立青翔中学校	2年	登藤 紗永
96	想い人誘えず終わる夏祭り実らぬ恋に溺れ続ける	苫小牧市立青翔中学校	2年	小川菜優花
95	病床で母を頼むと託されて父の想いを背負う夏の日	苫小牧市立啓明中学校	2年	近藤 芦羽
94	初めてだ空を見るのに下を向くすかさず「パンヤリ」機内に響く	伊達市立伊達中学校	2年	成田 朱音
93	閉けさと墨の香りに包まれてひとり向き合い筆をはしらす	市立札幌開成中等教育学校	3年	山下 明莉
92	足を上げ風を切る頬真っ青な天井の下バトンがつながら	札幌市立米里中学校	2年	志賀 心絆
91	不自由だ聞く耳もたない大人達僕にも意見言わせてほしい	札幌市立宮の森中学校	2年	須部 玲瀧

高校生の部

160	灼熱の手に汗握るグラウンド終わりを告げる我らの校歌	北海道夕張高等学校	3年	田中菱雅
159	卒業後進路考え参加したオーブンキャンパス有意義な日だ	北海道室蘭工業高等学校	2年	米谷航
158	どうしよう話しかけなきや始まらない名前も知らないバス乗るあの人	北海道函館西高等学校	1年	山口華凜
157	大歓声つられて笑い手を叩くルールを知らぬ従姉妹の無邪気	北海道札幌北陵高等学校	2年	石井結菜
156	蝉鳴きて人力車ゆく角館に雄々しく居並ぶ武家屋敷の街	北海道札幌東高等学校	2年	細川愛佳
155	走るほど手に届かない人の夢明日に向かって地道に歩く	北海道新篠津高等養護学校	3年	館山頼
154	少しずつ大人になってく君の影背中押すのは夏の思い出	北海道札幌白石高等学校	1年	渡邊咲來
153	暑すぎて祖父母がくれたお盆玉アイスに全部溶けてしまった	北海道札幌白石高等学校	1年	早川悠来
152	自己否定狂う自分に友の声優しい言葉に涙した夜	北海道札幌白石高等学校	1年	杉山蓮
151	道路越し私を見る青い海真ん中一つ船を浮かべて	北海道札幌白石高等学校	1年	島穂乃花
150	あせたらり温室作業待ちわびた風をかんじる十分休み	北海道倶知安農業高等学校	3年	菊地莉菜
149	五月雨の昏き空色憂鬱で雨ニモケズ動けよ躰	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	4年	沖口哉音
148	ゆううつな登校前に聴く曲は耳にたこでも百回リピート	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	3年	尾形静月
147	君と弾く視線は合わせぬ二重奏手元に注ぐ憧れと嫉妬	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	2年	増谷優那
146	坂の上見下ろし広がる海景色ほのかに香るクシロハナシノブ	北海道釧路工業高等学校(定時制)	4年	鈴木 紬
145	星空に耳を澄ませば聞こえてる初秋の鈴虫蛙のデニエツト	北海道釧路工業高等学校(定時制)	4年	板垣 凪
144	イヤフォンをしている友には聴こえない薄野原のオーケストラよ	北海道科学大学高等学校	1年	渡部 悠杏
143	最初から惹かれ合うこと気づいてた忘れられない十七の夏	北海道小樽未来創造高等学校	3年	福田 莉子
142	真つ暗な空に輝く流星群願いを乗せて君まで届け	北海道小樽未来創造高等学校	2年	今野 渚紗
141	通知音すぐ読む君からメッセージでも読めない君の気持ちは	北海道小樽未来創造高等学校	1年	鈴木 優斗
140	夏祭り会いたくないしと言っけれど探してしまっ君の姿を	北海道小樽未来創造高等学校	1年	齋藤 叶尚
139	夏祭りうしろ姿の彼見つけ届かぬ思いもどかし夏	北海道小樽未来創造高等学校	1年	桑原 杏
138	オムライス一番美味しく思うのはやはり王道母の手料理	北海道小樽水産高等学校	2年	西澤 春海